

Fiery Command WorkStation 6.3

新機能ガイド



目次

Fiery Command WorkStation の概要.....	3
今回のリリースについて.....	4
Fiery Command WorkStation Package 6.3.....	4
Fiery Software Manager について.....	5
新機能リスト.....	6
Fiery Command WorkStation Package に含まれている Fiery アプリケーションの仕様.....	7
Fiery Command WorkStation 6.3 の新機能（すべてのユーザー向け）.....	8
ネイティブ 64 ビットアプリケーション.....	8
HiDPI モニターのサポート.....	8
ソフトウェア内での EFI スマートサポートへのリンク.....	8
Fiery JobFlow 2.5 に対応.....	9
Fiery Command WorkStation 6.3 の新機能（カット紙プリンターのユーザー向け）.....	10
現在の表示のエクスポート.....	10
Fiery JobMaster.....	10
Fiery JDF 1.6 の新機能.....	11
Fiery Color Profiler Suite 5.1 に対応.....	12
廃止された機能.....	12
Fiery Command WorkStation 6.3 の新機能（ワイドフォーマットおよびスーパーワイドフォーマットプリンターのユーザー向け）.....	14
パフォーマンスの向上.....	14
その他のリソース.....	15

EFIはお客様のビジネスの発展をお手伝いします

EFIは看板、包装、テキスタイル、セラミックタイル、パーソナライズされた書類を制作するための画期的なテクノロジーを開発しています。多彩なプリンター、インク、デジタルフロントエンド、また、生産プロセス全体を変革し効率化する包括的なビジネスおよびプロダクションワークフローを提供し、お客様の競争力と生産性を向上させます。詳細は <http://www.efi.co.jp> まで。



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVu, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inkintensity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEK, the VUTEK logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.

All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.

Fiery Command WorkStation の概要

Fiery サーバーの印刷ジョブ管理インターフェイスである Fiery® Command WorkStation® は、印刷の生産性と性能を向上させます。また、ジョブの管理を一元化し、ネットワーク上のすべての Fiery サーバーに接続して、生産性を高めます。直観的なインターフェイスのため、ユーザーのエクスペリエンスレベルに関係なく、ジョブ管理が簡単になります。

Apple® macOS® と Microsoft® Windows® のクロスプラットフォームをフルサポートし、一貫した外観、操作性、機能を提供します。十分に実用的なリモート接続機能により、Fiery サーバーへのローカル接続の場合と同じ高品質の結果を得ることができます。また、Fiery Command WorkStation 6.3 アップデートで、Fiery System 10/10e 以降を搭載した Fiery サーバー、および Fiery XF 7 以降の使いやすさも向上します。

Fiery Command WorkStation バージョン 6.2 は www.efi.com/CWS からダウンロードしてください。



今回のリリースについて

Fiery Command WorkStation バージョン 6.3 は、最新のコンピューティング標準の順守とテクノロジー動向への適合に重点を置いたリリースです。このリリースにおける機能強化と変更点は、Fiery Command WorkStation の将来性を保証すると共に、ユーザーエクスペリエンスを向上させるためのものです。

Fiery Command WorkStation Package 6.3

Fiery Command WorkStation 6.3 は、Fiery Command WorkStation Package に含まれています。このパッケージのダウンロードおよびインストールは Fiery Software Manager によって処理されます。

このパッケージには、以下のソフトウェアが含まれており、ダウンロードすることができます。

Fiery Command WorkStation

ネットワーク上の Fiery Driven™ カット紙、ワイド、スーパーワイド、高速インクジェットのあらゆるプリンター¹を制御することでジョブ管理を一元化し、リアルタイムの生産性を向上させます。

Fiery Command WorkStation 6.3 には、カット紙プリンターユーザー向けのオプションのメイクレディソフトウェアとして、Fiery Impose、Fiery Compose、Fiery JobMaster のほか、Graphic Arts Package, Premium Edition が含まれています。

Fiery Hot Folders (カット紙のみ)

カット紙プリンターにおける反復作業のジョブ送信プロセスを自動化して、時間を節約し、簡単なドラッグアンドドロップ操作で印刷エラーを減らします。

Fiery Software Uninstaller (macOS のみ)

macOS 版クライアント上で Fiery アプリケーション (Fiery Command WorkStation、Fiery Color Profiler Suite、Fiery Navigator クライアント、Fiery Remote Scan、Fiery Language Package) や Fiery Driven プリンター、関連する印刷ドライバーまたはファイルを容易に除去できます。

¹ サポートされている Fiery サーバーについては、以下の[仕様セクション](#)を参照してください。

Fiery Software Manager について

Command WorkStation Package に加え、Fiery Software Manager で以下の Fiery アプリケーションをインストールすることもできます。

Fiery Remote Scan (カット紙のみ)

このアプリケーションを使用すると、使用中のコンピューターから、サポートされている Fiery サーバー上のスキャンメールボックスにあるスキャンジョブを取得したり、スキャンメールボックスを自動的に同期させることができます。

Fiery JobFlow (Windows のみ)

Fiery JobFlow™ により、プリプレスワークフローの自動化が可能になり、ジョブの処理と印刷を効率化できます。無料版の Fiery JobFlow Base では、PDF 変換、Fiery Preflight¹、高品位イメージ画像処理²、書類の面付け³を含むワークフローを管理することができるほか、ジョブの送信、アーカイブ、出力のための柔軟なオプションも用意されています。

有料版の Fiery JobFlow にアップグレードすると、ルールベースのワークフロー、Enfocus PitStop による高度なプリフライトおよび PDF 編集、効率を最大限に高めるクラウドベースの JobFlow 承認プロセスによって、インテリジェンスがさらに向上します。

Fiery Navigator

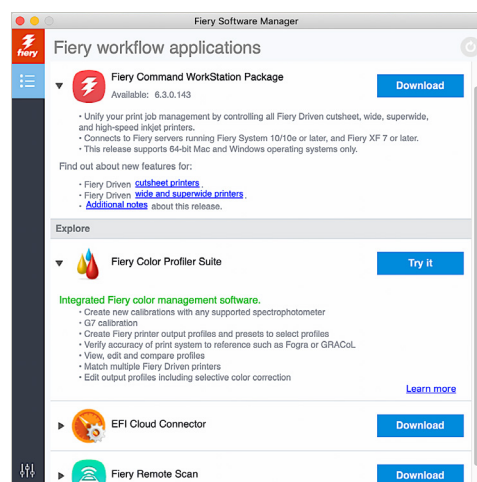
Fiery Navigator は、プロアクティブな印刷業務制御とデバイス管理に役立つサービスです。主要なプロダクションメトリクスを収集し、各 Fiery Driven デバイスへの設定の展開を可能にします。

Fiery Integration Package (Windows 専用クライアント、カット紙、高速インクジェットのみ)

Fiery Integration Package には、Fiery JDF と Fiery API が付属しています。これは、Windows および Linux ベースの Fiery サーバーをアップデートできる Windows 専用アプリケーションです。Fiery Software Manager の環境設定で「追加機能の表示」を選択して、Fiery Integration Package を確認しダウンロードする必要があります。

Fiery Color Profiler Suite

Fiery Color Profiler Suite カラー管理ソフトウェアは、印刷システムの統合されたカラー管理機能と品質管理を実現します。Fiery Driven プリンターのカラー機能を拡張し、プロファイルの作成、検査、編集やカラー品質の保証を行う高度な管理ツールです。モジュラー機能によって、あらゆる種類の素材でデザイン、印刷プロダクション、オフィスアプリケーションにわたってカラーの精度と一貫性を保証でき、生産性と投資収益率が向上します。



Fiery Software Manager

¹ Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition が必要

² Fiery Image Enhance Visual Editor が必要

³ Fiery Impose が必要

新機能リスト

バージョン 6.3 では、ユーザーに活用いただいていた Fiery の価値を引継ぎながら、最新のコンピューティングおよびテクノロジーの標準とトレンドに沿った新しい機能を提供します。このガイドでは、新しい機能を分類し、最も重要な変更点を紹介します。

すべてのユーザー向けの新機能：

- ネイティブ 64 ビットアプリケーション
- HiDPI モニターのサポート
- EFI スマートサポートへのリンク
- Fiery JobFlow 2.5 に対応

カット紙プリンターユーザー向けの新機能：

- 現在の表示のエクスポート
- Fiery JobMaster
 - Fiery Remote Scan のアップデート
 - 複製ページのファイルサイズの縮小
- Fiery JDF 1.6 の新機能
- Fiery Color Profiler Suite 5.1 に対応
- 廃止された機能
 - Fiery Remote Scan TWAIN プラグイン
 - 一部の Fiery Hot Folders フィルター

ワイドフォーマットおよびスーパーワイドフォーマットプリンターユーザー向けの新機能：

- パフォーマンスの向上

Fiery Command WorkStation Package に含まれている Fiery アプリケーションの仕様

これらのアプリケーションは、以下のサーバーおよびクライアントにインストールして接続することができます。

- 次の Fiery System ソフトウェアを搭載した Fiery サーバー：
 - Fiery System 10 または 10e、FS100/100 Pro、FS150/150 Pro、FS200/FS200 Pro、FS300/FS300 Pro サーバー
 - Fiery XF 7 以上
- macOS クライアント：
 - macOS 10.11 以降
 - 4 GB 以上の RAM (推奨)
 - 7GB のハードドライブ空き容量
 - 最小ディスプレイ解像度：
 - カット紙をお使いの場合：1280 x 1024
 - ワイドフォーマットおよびスーパーワイドフォーマットをお使いの場合：1600 x 900
- Windows クライアント：
 - Microsoft Windows 7 SP1、8.1 (2014 年 4 月アップデート)、10 64 ビット以降
 - Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1、2012 R2 (2014 年 4 月アップデート)、2016 64 ビット
 - Intel® Core™ i3 プロセッサ以上
 - 4 GB 以上の RAM
 - 16 GB の利用可能なハードドライブ空き容量
 - 最小ディスプレイ解像度：
 - カット紙をお使いの場合：1280 x 1024
 - ワイドフォーマットおよびスーパーワイドフォーマットをお使いの場合：1600 x 900

Fiery Command WorkStation 6.0 以降、Fiery Hot Folders および Fiery Remote Scan は、Fiery System 9 R2 以下を搭載した Fiery カット紙対応サーバー、または Fiery Central サーバーには接続しません。これらのシステムに接続するには、Fiery Command WorkStation 5.8 をインストールしなければなりません。バージョン 6.x からバージョン 5.8 へダウングレードする方法については、fiery.efi.com/cws58-reinstall-help を参照してください。

Fiery Command WorkStation 6.3 の新機能（すべてのユーザー向け）

ネイティブ 64 ビットアプリケーション

Fiery Command WorkStation 6.3 は、macOS と Windows のどちらのプラットフォームにも対応したネイティブ 64 ビットアプリケーションです。Apple では、macOS 10.14 (Mojave) 以降のオペレーティングシステムリリースでの 32 ビットサポートを終了する予定です。Microsoft では、32 ビットサポートをすぐに廃止する計画はありませんが、セキュリティの強化などのメリットにより Microsoft 64 ビットオペレーティングシステムがますます普及しており、ネイティブ 64 ビットのサポートは Fiery ユーザーにとっても重要です。

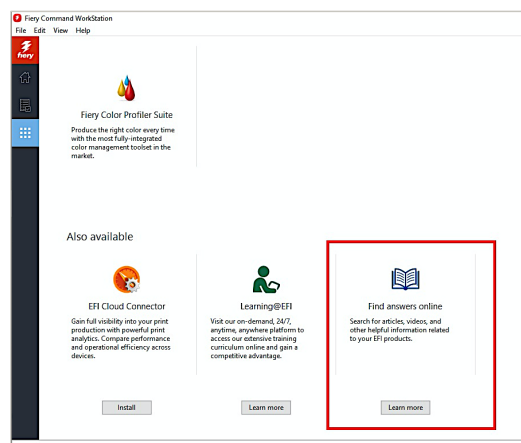
32 ビットオペレーティングシステムはバージョン 6.3 ではサポートされていないことに注意してください。Fiery Software Manager がすでに 32 ビットオペレーティングシステム（たとえば Windows 7 32 ビットなど）で稼働している場合、バージョン 6.3 パッケージのアップデート通知は Fiery Software Manager には表示されません。このバージョンの Fiery Software Manager を 32 ビットオペレーティングシステムで実行しようとしても、互換性エラーが表示されて、Fiery Software Manager は動作しません。このような場合は、代わりに [Fiery Command WorkStation 6.2](#) をインストールできます。バージョン 6.3 でサポートされている最新のオペレーティングシステムについては、[仕様セクション](#)を参照してください。

HiDPI モニターのサポート

この最新の Fiery Command WorkStation リリースでは、HiDPI モニターを完全にサポートし、Microsoft Windows の表示倍率およびレイアウト設定に従っています。フォントなどの項目を表示解像度の上限までさまざまなサイズで拡大/縮小することができます。

ソフトウェア内での EFI スマートサポートへのリンク

EFI のオンラインナレッジベースに直接アクセスできるリンクを、Fiery Command WorkStation のアプリおよびリソースで利用できるようになりました。参考になる何千件もの記事、動画、その他の EFI 製品関連リソースが利用可能で、ほんの数クリックするだけで容易に見つけることができます。



アプリおよびリソース

Fiery JobFlow 2.5 に対応

Fiery Command WorkStation 6.3 で Fiery JobFlow 2.5 が使用可能になりました。

互換性

Fiery JobFlow 2.5 には、Command WorkStation バージョン 5.8~6.2 との下位互換性があります。ただし、Command WorkStation 6.3 にアップグレードする場合は、JobFlow もバージョン 2.5 にアップデートする必要があります（まだアップデートしていない場合）。

新機能には以下のものが含まれます。

- Fiery XF のステップ&リピートワークフローおよびネスティングワークフローのサポート
- EFI Digital StoreFront™との統合
- マスター変数
- 完全マッチの収集
- 64 ビットのサポート

これらの機能について詳しくは、JobFlow 2.5 の[新機能に関するプレゼンテーション](#)を参照してください。

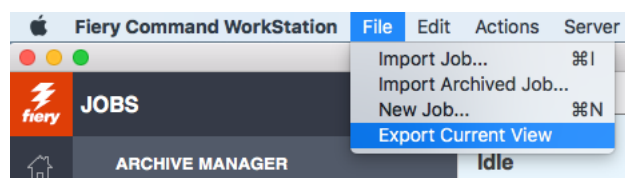
Fiery Command WorkStation 6.3 の新機能（カット紙プリンターのユーザー向け）

現在の表示のエクスポート

Fiery Command WorkStation に現在表示されている情報をテキストファイルにエクスポートできます。

- その時点でユーザーに表示されているあらゆる情報が含まれます。たとえば、印刷済みキューや、保存済みの検索/フィルタービューとその中のすべての欄の情報などです。
- テキストファイルを Microsoft Excel（または類似アプリケーション）にインポートして、データ分析を行うことができます。その後、その情報を MIS やその他の部門管理システムにインポートすることができます。

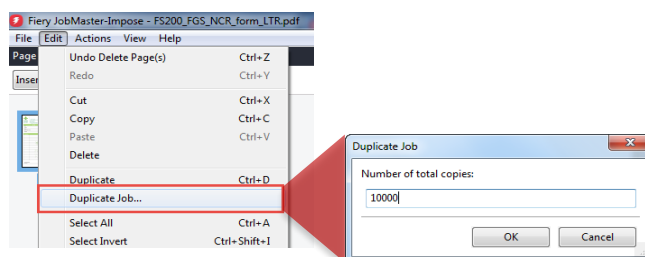
「現在の表示のエクスポート」機能は、Fiery Smart Estimator をサポートしている製品の場合に特に役に立ちます。コストやインクの見積りデータを適切なソフトウェアにエクスポートできるからです。



Fiery JobMaster

複製ページのファイルサイズの縮小

Fiery JobMaster を使用すると、ページの複製が必要なジョブのアセンブリ後、ファイルサイズが大幅に縮小されます。これは、チケット、クーポン、フォーム、はがきなど、多数の複製ページが必要なジョブを印刷する際に重要になります。結果として、保存やジョブ処理の時間が大幅に短縮されます。



Fiery Remote Scan のアップデート

Fiery Command WorkStation 6.3 に付属している Fiery JobMaster では、TWAIN スキャンドライバーのサポートが廃止されています。代わりに、Fiery Remote Scan プラグインを介したスキャンと、オペレーティングシステムで現在使用されているスキャンプロトコル（Windows の場合は WIA、macOS の場合は ICA）をサポートしています。

このプロトコル変更は、Fiery JobMaster でこれまで提供されてきたスキャン機能には影響しません。

Fiery Command WorkStation 6.2 に付属している Fiery JobMaster は、TWAIN をサポートしている最後のリリースになります。

Fiery JDF 1.6 の新機能

Fiery JDF はバージョン 1.6 にアップデートされ、次の新機能が提供されるようになりました。

送信順印刷キューのサポート

送信順印刷機能を使用すると、統合されている上流のソフトウェアでジョブを Fiery サーバーに順次送信して、バッチで送信されたジョブが「先入れ先出し」の順序に保たれるようにすることができます。まず Configure で、Fiery サーバーに送信順印刷キュー機能を有効にする必要があります。

JDF バナーページの用紙の指定

Fiery JDF バナーページのカスタム用紙を指定できるようになりました。バナーページは、ジョブの前、ジョブの後、ジョブの前と後に印刷することができます。バナーページの内容は、JDF チケットで指定された PDF ファイルのコンテンツ URL (MIS Crystal Reports の場所など) に基づいて印刷されます。または、ジョブ情報に基づいて自動的に生成することもできます。この動作は、ジョブのプロパティでのカバーページ機能と同じです。

ジョブレベルでの APPE のサポート

この新機能を使用すると、統合されている上流のソフトウェア (MIS やプリプレスワークフローなど) から、ジョブのプロパティウィンドウで「Adobe PDF Print Engine 使用」設定のオン/オフをジョブレベルでリモートに切り替えることができます。

用紙レベルのレポート

用紙レベルのレポート機能を使用すると、統合されている上流のソフトウェアから各トレイの用紙レベルを問い合わせることができます。

これらの新機能について詳しくは、[Fiery JDF の Web ページ](#)または[リリースノート](#)を参照してください。JDF サンプルが必要な場合は、developer.efi.comを参照してください。

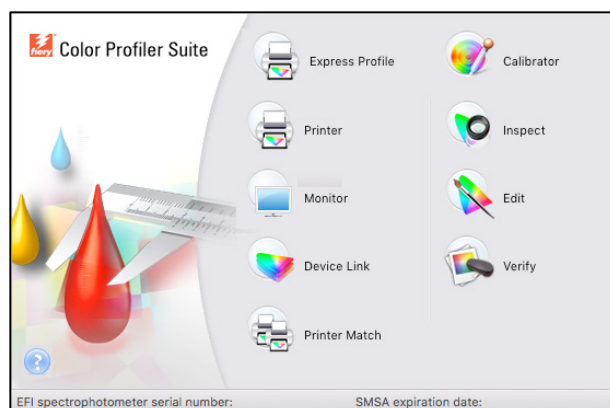
Fiery Color Profiler Suite 5.1 に対応

Fiery Command WorkStation バージョン 6.3 は、Fiery Color Profiler Suite 5.1 に対応しています。

Fiery Color Profiler Suite 5.1 には、優れた新機能が用意されています。この最新バージョンには、強化されたプリンターマッチモジュールと新しい Fiery Verify モジュールが含まれており、古い自動検証モジュールは廃止されています。

新しい Fiery Verify モジュール

- Command WorkStation と Color Profiler Suite のカラー検証ワークフロー間の一貫性が改善されました。
- ユーザーが直接 Command WorkStation 6.3 から、カラー品質を業界標準に照らして確認できます。
- 初心者のユーザーがエキスパート向けのレポートを解釈しなくても済むように、シンプルなレポートが生成されます。



プリンターマッチのアップデート

- プロファイルおよびキャリブレーションを簡単に選択できるようにするためのサーバープリセットの作成は、最大 5 台までの Fiery 搭載印刷システムとマッチすることが可能です。
- 時間が経過してもマッチングを安定的に実行できるように、共通の色域を調整します。

新規デバイスのアップデート

- Barbieri® LFP qb 分光測色計をサポートします。

重要事項：

カット紙プリンターの場合、Color Profiler Suite 5.0 と Command WorkStation 6.2 以下で利用できた統合タッチポイントと同じものを Command WorkStation 6.3 との間で使用するには、Fiery Color Profiler Suite をバージョン 5.1 にアップグレードする必要があります。デバイスセンター内または Fiery Calibrator からプロファイルを作成するには、Command WorkStation 6.3 に Color Profiler Suite バージョン 5.1 が必要です。キャリブレーション、プロファイル、デバイスリンクの作成、プリンターのマッチング、スポットカラーの最適化は、現在も任意のバージョンの Color Profiler Suite を Command WorkStation 6.3 と併用して直接行うことができます。

Fiery Color Profiler Suite 5.1 について詳しくは、[新機能に関するプレゼンテーション](#)を参照してください。

廃止された機能

Fiery Remote Scan TWAIN プラグイン

TWAIN 通信プロトコルプラグインが Fiery Remote Scan から除去され、Adobe Acrobat や Adobe Photoshop などのサードパーティアプリケーションからページをスキャンできなくなりました。

Fiery Remote Scan アプリケーションを使用することで、クライアントコンピューターで、サポートされている Fiery サーバー上のスキャンメールボックスからスキャンジョブを取得したり、スキャンメールボックスを自動的に同期させることが可能です。

Fiery Hot Folders フィルター

以下は、Fiery Hot Folders による変換でサポートされなくなりました。

- Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition と Fiery Productivity Package に含まれているフィルター：
PDF2GO、ExportPS、CT-LW、DCS 2.0、TIFF-IT
- PDF から PS 出力ファイルタイプへの変換

Fiery Command WorkStation 6.3 の新機能（ワイドフォーマット およびスーパーワイドフォーマットプリンターのユーザー向け）

パフォーマンスの向上

Fiery Command WorkStation 6.3 は、バージョン 6.2 よりも向上したパフォーマンスを提供します。たとえば、Fiery proServer および Fiery XF ユーザーが複数のサーバーに接続している場合や、数百さらには数千ものジョブをジョブセンターに保存している場合でも、Command WorkStation の起動が少なくとも 1.6 倍速くなります。

Fiery Job Editor も応答が速くなりました。特に、ネスティングジョブ、ステップ&リピートジョブ、タイリングジョブで、平均起動速度がそれぞれ 2.4 倍、1.8 倍、1.7 倍以上に向上しました。

その他のリソース

以下の営業資料、トレーニング資料および技術資料を利用すると、Fiery Command WorkStation および関連する製品やアプリケーションに関する知識を広げるのに役に立ちます。

Fiery Command WorkStation のメイン Web ページ	efi.com/cws
Fiery Command WorkStation のダウンロード	fiery.efi.com/cws
Fiery Impose の 30 日間無料トライアル申し込み	efi.com/impose
Fiery JobMaster の 30 日間無料トライアル申し込み	efi.com/jobmaster
Fiery Graphic Arts Package, Premium Edition の 30 日間無料トライアル申し込み	efi.com/gappe
Fiery JobFlow の 30 日間無料トライアル申し込み	efi.com/jobflow
Fiery メイクレディソリューションの比較	fiery.efi.com/makeready-comparison
Learning@EFI のトレーニングリソース	learning.efi.com
Fiery フォーラム	fieryforums.efi.com
EFI コミュニティ	https://communities.efi.com/s/
Fiery Command WorkStation サポート資料	http://help.efi.com/cwspackage/index.html